45年ぶりの献上茶謹製

# 躍進「ふじのやぶ北茶」

八十八夜の5月2日、献上茶謹製のための茶摘み式、手揉み式などの式典が市内大渕と青島の農協会館で行われました。この献上茶は、昔の茶壺道中に替わるもので、富士市で行われるのは昭和14年以来実に45年ぶりのことです。ことしは異常寒波、積雪と茶農家は大きな被害を受けましたが、育成の遅れを見事にはねとばしました。いままで品質ではいま一歩とされていた「富士のやぶ北茶」も献上茶に選ばれたことで、一級品の折り紙がつけられたことになり、関係者一同喜びを分かち合いました。

△あねさんかぶり、タスキがけの茶娘による茶摘み式

祝富士市献上茶謹製記念式典会場

△神事もおごそかに

▷揉む手にも力がはいります

◁会場には茶席も

△献上茶指定茶園主、喜びの授賞

1、富士山のように　高く　教養を深め　視野のひろい市民となります

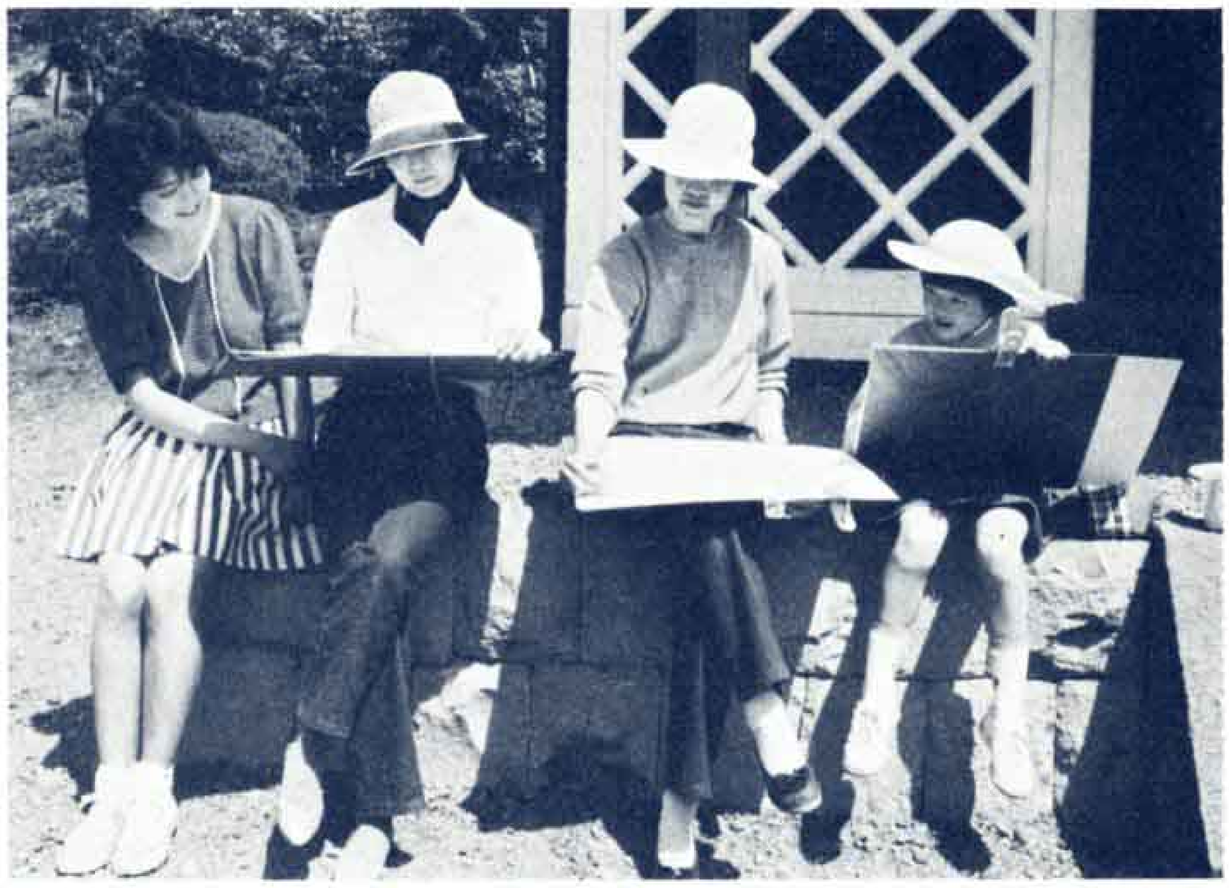
カメラルポ

# 春らんまん、市民文化祭が広見公園で

4月29日～5月6日

◁写真撮影会

お父さん、上手だね



▷親子写生大会

## みんな集まれ!

## こどもまつり

市立中央図書館では「富士市こどもの本を学ぶ会」が中心になり、青年会議所の協賛によって児童福祉週間の初日にあたる天皇誕生日に"こどもまつり"を市民会館で開催しました。

△うまく折り紙できたかな

△人形劇もおもしろかったよ